

会 議 録

会 議 名 (審議会等名)	令和元年度第7回小金井市廃棄物減量等推進審議会		
事 務 局 (担 当 課)	小金井市ごみ対策課		
開 催 日 時	令和元年12月11日(水)		
開 催 場 所	小金井市 中間処理場		
出 席 者	委 員	<出席者：11名> 岡山会長・渡辺副会長・大江委員・石田委員・石原委員・土屋委員・星野委員・黒須委員・多田委員・岸野委員・林委員 <欠席者：4名> 堀越委員・斎藤委員・山田委員・波多野委員	
	事 務 局	小野ごみ対策課長・大久保・高田・高花	
傍聴者の可否	可	傍 聴 者 数	0
会 議 次 第	1 開 会 (1) 会議録の確認について 2 報 告 (1) 燃やすごみの処理量の昨年度との月別の比較について (2) 可燃ごみ処理の支援状況について 3 議 題 小金井市一般廃棄物処理基本計画について 3 その他		
会 議 結 果	別紙審議経過のとおり		
提 出 資 料	別添のとおり		
そ の 他			

(審議過程) 主な発言等

岡山会長	<p>これより令和元年度第7回小金井市廃棄物減量等推進審議会を開催する。</p> <p>本日の欠席委員について、堀越委員、波多野委員、山田委員、齋藤委員より、欠席の連絡を事前に頂いている。</p> <p>また、石原委員、土屋委員より、遅刻の連絡を頂いている。</p> <p>それでは、本日の進行及び配布資料についての確認を事務局からお願いする。</p>
大久保減量推進係長	(配布資料確認)
岡山会長	<p>続いて、前回、令和元年度第6回審議会の会議録について、意見・修正があれば申し出ていただきたい。</p> <p>それでは、事務局にて公開手続きに入る。</p> <p>続いて、事務局より提出された資料について説明をお願いする。</p>
大久保減量推進係長	(「燃やすごみの処理量の昨年度との月別比較について」説明)
小野ごみ対策課長	(「可燃ごみ処理の支援状況について」説明)
岡山会長	事務局からの説明と報告について、意見・質問はあるか。
渡辺副会長	事業系ごみが平成30年度と比べて減少しているが、事業者に対して何かしらの指導を行ったのか。
大久保減量推進係長	<p>8・9月分が減少しているが、平成30年度も同様の傾向がみられており、理由は不明である。</p> <p>新可燃ごみ処理施設の試運転開始に向けては、事業系ごみの処理先変更についての周知と併せ、11月から市内の各事業所に職員が出向き、排出状況や分別の状況を調査のうえ指導を行っているところである。</p>
林委員	12月19日以降、新可燃ごみ処理施設に事業系ごみも搬入されるのか。

(審議過程) 主な発言等

小野ごみ対策課長	全てではないが、今まで民間処理施設で処理されていた1日平均10kg以上の事業系ごみも搬入されることになる。
林委員	ということは、かなり増えるということか。
大久保減量推進係長	市の施設で処理する分としてカウントする量は増える。
林委員	民間処理施設で処理していたものが、19日からは42円の手数料で市の施設で処理することになる、ということか。
大久保減量推進係長	本格稼働に合わせ来年度の施行となるため、3月31日までは55円で処理をする。小金井市は、可燃ごみの処理を他団体に支援していただいているという状況下にあるため、家庭系ごみのみ19日から搬入を開始する予定だが、それ以外は20日から搬入を開始する予定である。
多田委員	排出傾向としては、1月以降大幅に増加するということか。
大久保減量推進係長	事業者と収集運搬許可業者との契約もあるため、新可燃ごみ処理施設への搬入の開始は随時となり、徐々に増加するという想定である。
多田委員	予想数値はどのくらいを想定しているか。
小野ごみ対策課長	想定数は未定であるが、進捗は今後お知らせしていく。
岡山会長	今年度の広域支援の年間見込量はどのくらいか。
大久保減量推進係長	12月19日以降、広域支援は終了する見込みであるため、年間量を10,000tとして契約している。
岡山会長	「小金井市一般廃棄物処理基本計画の策定」について審議に入る。事務局より提出された資料についての説明を求める。
小野ごみ対策課長	(資料の説明)

(審議過程) 主な発言等

林委員	施策の実施状況については、削除することにしたのか。
小野ごみ対策課長	毎年のP D C Aの中で審議頂いており、進捗も適宜報告しているので、今回計画素案ではあえて掲載していない。
岡山会長	26ページの「表示方法を見直します」とあるが、図が追加されるのか。
大久保減量推進係長	目指す将来像については、前回計画を踏襲している。目指すべき姿を変えるつもりはないが、視覚的な部分で見やすさを検討しているところである。
岡山会長	そもそも、基本計画のタイトルが前回と同じだが、このままでいいのか。
小野ごみ対策課長	ご意見があれば賜っていく。
大久保減量推進係長	前々回の副題が「限りなくごみゼロを目指す循環型都市小金井」であり、大きな変更はない。
林委員	30ページの将来推計の考え方について、「実現性を考慮した論理的な目標値を設定するために」という表現が分かりにくい。
大久保減量推進係長	精査する。
林委員	37ページ以降、取り組み内容の表中に、前期、後期という表記があるが、これには意味があるのか。同様に、強化と充実に違いはあるのか。表現方法を見直した方が良いと思う。
小野ごみ対策課長	前回計画で記載をしているものと同様の意味で記載してあるのだが、今回は説明文が無かったので、追記する。
林委員	強化と充実で、アクションに違いが出てくるのか。

(審議過程) 主な発言等

小野ごみ対策課長	充実については、向上性をもたせること、強化については、既存の枠組みを超えるもの、という位置づけを意図している。
林委員	単純に「継続」でいいのではないか。前期、後期は無くし、言葉の定義を入れて欲しい。
大久保減量推進係長	修正する。
多田委員	取組内容の通し番号について、計画項目が変わっても連番になっていることに違和感がある。前は全てにおいて番号が振り直されていたが、今回は全てが連番になっている。変更した方が良いのではないか。
小野ごみ対策課長	番号のつけ方については、各人によって見やすい、見にくいがあると思う。何かしらルールをご意見いただきたい。
大久保減量推進係長	取組内容で連番にしておけば、例えば2の何番、といったように記載しなくてもよく、簡潔な表記となるのではないかと思うが、振番ルールを取り決めておくのも一つのやり方であるので、ご意見を賜ればと思う。
石田委員	途中で見直しを行い、取組内容が追加された場合の対策はあるのか。
石原委員	基本的には通し番号ではなく、振り直すのが一般的だと思う。
岡山会長	第2節が発生抑制の推進。第3節が安心安全安定的な適正処理の推進。評価対象を1から8にして第2節とし、9から11までは評価対象外とするのであれば、第3節を振りなおしても支障はないと思う。具体的に取り組み内容については、各計画項目に番号を振りなおす形としていただければと思う。
林委員	38ページの(5)について、2段落目の3行目について、あり方を検討していることは分かるが、4行目以降の一文は現状を説明しすぎており、5年後に読むことを想定した場合そぐ

(審議過程) 主な発言等

岡山会長	わない。5年経過したときに読んだとしても、おかしい文章になっていないように修正いただければと思う。
林委員	具体的な内容について今後検討する、とすれば良いのではないかな。
岡山会長	「見える化」というのは「手段」のことではなく、生ごみの資源循環を「見える化」するために、くるかめ給食を実現したい、といった「内容」のことである。
林委員	この書き方だと、市報、ホームページ、アプリ、チラシ、それらが「見える化」の手段と読み取れる。「見える化」をわざわざ括弧書きにする意味がうまく表現できていない。
小野ごみ対策課長	例えば、ペットボトルがサッカーユニフォームになるのも一つの「見える化」である。
林委員	具体的な資源化のプロセスを可視化して啓発に努めていくようなイメージの文言を入れないと分かりにくい。
石原委員	ごみゼロ化推進会議と推進員の今後のあり方は検討中だと思うが、それらの位置付けはどこかに記載していただきたい。それから、「取組」と「取組み」が混在していると思うが使い分けはあるのか。
大久保減量推進係長	ごみゼロ化推進会議、ごみゼロ化推進員、ごみの相談員が混在していたので、ごみゼロ化推進会議とごみゼロ化推進員としてまとめて記載した。

(審議過程) 主な発言等

事務局	言葉の使い方については、「取組」は名詞、「取組み」は動詞として使っている。
大久保減量推進係長	ごみゼロ化推進会議や推進員については、前回の審議会でコラムにまとめる案も出ていたが、かえって混乱を招きかねないという結論に至ったため掲載していない。
岡山会長	位置付けについては、23ページの5(1)の本文に記載している。
岡山会長	23ページを参照することでごみゼロ化推進員と推進会議の位置付けは説明されている。今回、ごみの相談員については、混乱を招くため全て削除したという経緯がある。この付近にごみゼロ化推進員の役割の一つとしてごみ相談員もある旨の説明をいれるか、注釈か巻末で説明いただければと思う。
林委員	44ページの(19)のまた以降の文章はコラムに移し、募った人員で構成していることを説明文にすることはできないか。併せて、制度の見直しについてもコラム記事に載せることで良いのではないか。
石原委員	23ページの表記に※印等を付けて、巻末で推進委員は相談員であることを注釈で入れるという程度でいいと思う。
岡山会長	23ページは前計画なので、充実させる必要はない。巻末より同ページ内に注釈が入る方が有効と考える。「見える化」についても同様であると思う。
岸野委員	44ページの(19)の記載内容では、町会・自治会などとなっているが、事業所も入っている。事業所についての文言も加えていただきたい。
岡山会長	条例上の記載があるのか。
大久保減量推進係長	条例の記載に基づき、「町会・自治会・事業者など」と修正する。

(審議過程) 主な発言等

渡辺副会長	広く市民から募る、というような文言でも良いかもしれない。
林委員	表現は明確にした方が良い。
岡山会長	「人材を町会・自治体・事業者などから広く募ります」と追加する。
岸野委員	2ページのSDGsについて、小金井市はこの7つの取り組みを進めていくということか。
岡山会長	今回初めて2ページ目に挿入して関連するSDGsを挙げてみたが、あくまで叩き台である。13番は入れたい。
渡辺副会長	2番と10番も入れたい。
林委員	理念としては理解するが、取組との関わりが見えると良いと思う。処理基本計画の上位計画である環境基本計画の見直しを行っていると思うが、先行して処理基本計画の中で記載することにも違和感がある。市民の中でSDGsを知っている人がどの程度いるかも疑問である。
岡山委員	本来は、市の総合計画に盛り込む内容ではあるが、その見直しはまだ先のことになる。計画に盛り込むことができるタイミングで盛り込むことは問題ないと思う。
林委員	SDGsは小金井の環境基本計画に網羅される内容と理解している。SDGsに限らず重点取組は全て環境基本計画に、いわゆる上位計画に取り込まれるという認識でいる。後に読み返した時に、環境基本計画が上位にあって、それを受けてのごみ処理計画となる理解でよいか。
渡辺副会長	本計画と関連がある目標は、示されている7つだけではない。限定してしまうと違和感があるので、例として挙げればよいのではないか。

(審議過程) 主な発言等

岡山会長	<p>2ページでは、SDGsの紹介に留め、本計画と関連のある計画については、資料編等で記載すればいいと思う。</p> <p>17個のゴールを羅列して、巻末資料の方に一覧表にするなどして、ここではコラムとしてSDGsを紹介する形で良いのではないか。本計画に関連するものについては資料編で記載する形でいかがか。</p>
大江委員	<p>そういうやり方もあるし、2ページには特に関連のある項目だけ示し、巻末資料編に17個の目標を大きく示せば良いと思う。</p>
林委員	<p>7番は削除してもいいと思う。</p>
大江委員	<p>施策体系についてだが、重点項目の一覧は入れる予定であるのか。重点項目をまとめてあると一層分かりやすい。</p>
多田委員	<p>8(28)だけ重点項目扱いなのに「充実」になっていることに違和感がある。他はいずれも「強化」となっている。</p>
小野ごみ対策課長	<p>「強化」と修正させていただく。</p>
岡山会長	<p>体系として基本方針が2つあり、それに対して計画項目が、それぞれ8個と3個紐づいて並んでいる。さらに計画項目中には複数の取組内容が存在する。取組内容のうちのいくつかが重点項目となる、というピラミッド構造である。その説明文を最初に提示してはいかがか。</p> <p>左側から基本方針、計画項目、重点項目と組織図的に記載できれば一番良いと思う。いずれにしる体系説明があるとよい。</p>
大久保減量推進係長	<p>重点項目の見せ方については事務局に一任いただければと思う。</p>
林委員	<p>47ページ(29)に効果的3Rを推進する為として、突然SDGsが出てくる。これはむしろ(30)環境負荷低減に記載されているべきだと思う。</p> <p>また、4ページの計画対象期間について、今までは今後5年</p>

(審議過程) 主な発言等

大江委員	<p>間の計画であるつもりで検討をしてきたが、今後10年間の計画となっている。3市ごみ減量推進市民会議に出席しているが、今後10年間の可燃ごみ減量施策が議題となっており、来年4月にはレポートが作成され、3市での方針が出てくる。10年先を見据えた議論をしてきていないが、今後を考えたときに柔軟な対応ができるよう、余裕を持たせた表現を事務局に考えて頂きたい。10年後を見据えた取組は表現し辛いと思うが、3Rの部分で今後の変化を受け入れやすいような表現にした方がいいと思う。</p> <p>1ページに小金井市における原単位やリサイクル率が1位という表記があるが、これだけでは相対的な位置づけが分からない。資料編でもいいので対象となる自治体数を明記したうえで、将来を見通して、今後の変化に対応できるように、背景・目的をうまく記載できれば良いと思う。</p>
石田委員	<p>市民の意識として、処理施設ができることによってごみ減量努力をしなくて良い、となることは避けなければならない。</p> <p>これから先、もっと減量の努力をしなければならないことをメッセージとして出していかなければならない。抜本的な問題解決に向けた取組が必要であることをどこかに記載できないか。</p>
岡山会長	<p>市民アンケートの結果を思い出すと、割と辛らつな意見が多かった。処理基本計画内で具体的なこと「今こそ更なるごみゼロ化」と記載しすぎると、逆に市民からの反発が懸念される。</p> <p>議論いただいた内容を市民全員が共有できているわけではなく、非常に高い理念・目標を掲げても、それが共有できていないとただの読み物になってしまう。ごみについてはSDGsに則って努力し、達成しようと謳いたいと希望する。しかし、市の考えもあると思うので、具体的に施策中にはこれ以上記載するのは難しいと考える。リサイクル・リユースルート等の運用は今後も考え続ける。P40リサイクルルート構築を「充実」ではなく「強化」にしてもよいと思う。現在記載されているように、「検討します」といったような表現でいいと思う。</p>

(審議過程) 主な発言等

林委員	<p>この検討会の最初に10年計画と知っていれば、検討の仕方が変わっていたと思う。</p> <p>環境政策課にも10年計画である旨、伝わっていないといけない。市のなかでの情報共有をして欲しい。</p>
岡山会長	<p>26ページには、計画基本方針にそのあたりの記載があれば良いと思う。</p>
石原委員	<p>31ページの人口推計に関してだが、もっと減少するはずであり、厳密ではないにしても、人口減少を考慮に入れた推計を提示して欲しい。</p>
大久保減量推進係長	<p>来年には南口の再開発もあるが、人口ビジョンにはこの部分は反映していないと思うので、人口ビジョンよりは上の数値で推移すると考えられる。</p>
岡山会長	<p>若い世代が流入すると、その後10年間は、まず小学生が増える。よって、小学生を絡めた活動を強化してもよいかもしれない。</p>
林委員	<p>小金井市における原単位やリサイクル率が1位ということについてだが、可燃ごみに含まれている事業系の違いではないかと考えている。新可燃ごみ処理施設への搬入が始まったということは、事業系の排出量が増えてすぐに1位ではなくなる。小金井の事業系のごみ排出量が少ないのは、他市に処理をしていただいている直接搬入される事業系が少ないからであると理解している。そうすると、すぐに排出量は増えてしまう。ならば、であるから、あまり1位ということに記載しなくても良いのではないか。</p>
岡山会長	<p>事業系を合わせた排出量を全人口で割るので、事業系の部分が増加すると、一人当たりの排出量も増加する。</p>
渡辺副会長	<p>生活系について小金井はトップレベルで少ないのであるから、記載があっても良いのではないか。</p>

(審議過程) 主な発言等

大久保減量推進係長	<p>市民の皆さまに努力して頂いている。この数字は皆さまの努力の結果であり、お示ししたいと考えている。</p> <p>目標設定部分については、家庭系と事業系を分けて別の目標が設定されている市もあるが、小金井市では総量が把握できていなかったため、家庭系と事業系を分けて推計設定することができない。よって、市民一人当たりを基準に事業系目標値を反映させている。新可燃ごみ処理施設が安定的に稼働し、事業系の統計が取れるようになれば、今後設定をしていく予定である。</p>
小野ごみ対策課長	<p>2,000トンと予想しているが、実際量は統計を取らないと分からない。</p>
林委員	<p>市報に事業系ごみの取り扱いとして、指定収集袋に事業者名を記載する旨を一行入れて頂きたい。氏名を記載することで排出の際に緊張感が生まれると思う。</p>
小野ごみ対策課長	<p>事業者名記載については、強制はできない。指定収集袋で排出している事業系ごみは、家庭ごみと同様、厳しく精査しており、ルールが守られていない場合は回収していない。つまり、袋で出されている事業者は一定の努力をしている。問題は、今後増加予定の事業系ごみは、指定収集袋で出されているごみではなく、どのような減量対策を行うのか思案するところである。</p> <p>ちなみに、指定収集袋で排出されている事業系ごみは、家庭系に含まれて計上されており、今後増加を見込んでいる事業系ごみとは異なる。</p>
大久保減量推進係長	<p>家庭系に含めている理由としては、家庭用と事業用で袋の色は違うが、同じ収集車両で回収しているためである。降ろした時に別々に計量しているわけではない。</p>
小野ごみ対策課長	<p>可燃ごみのうち、家庭系以外の事業系として少量が集計されているのは、収集袋で排出しているものではなく、民間業者を通じて排出されたものである。民間処理施設まで運搬できない事業者は、国分寺市の支援を受けて清掃センターで処理して頂</p>

(審議過程) 主な発言等

大久保減量推進係長	いており、それを事業系ごみの実績として計上している。民間施設に民間同士の契約で搬出されているものは含まれていない。 国分寺市で処理されている分は、集計することはできるが、民間施設に民間同士の契約で搬出されているものは集計できないため含まれていない。
渡辺副会長	そう考えると5年後には事業系の目標を立てる必要がある。
小野ごみ対策課長	収集袋を使用していない事業系ごみを収集運搬している市内の許可業者の中には、土日に回収をしているところもある。しかし、新可燃ごみ処理施設には月曜日から金曜日までしか搬入できない。回収車にごみを積載したまま土日を跨ぎ、また月曜日から回収する、ということは法律で禁止されているので、土日にごみを排出している事業者への周知働きかけを、収集運搬をしている許可業者を通じて行っていく。
黒須委員	43ページの(18)について、質の高い学習機会の提供とは、具体的に自治会にどのようなことをやってほしいとの意図があるのか実際にごみカレンダー以外で町会などには何を期待しているのか。
小野ごみ対策課長	子供たちに伝えていきたいこととしては、ごみとしてはどのようなものか、最終的にごみとして処理されてしまうが、ごみとなる前にごみの発生を回避できる、ということを伝えたい。自治会の方で要望を上げていただければと思う。ご希望に合わせて講座を企画することも可能である。
黒須委員	町会に関わっているような方々は既に意識の高い人が多い。質の高い学習機会とは具体的にはどういったものか。
林委員	質が高いかは分からないが、役員会の中でごみの分別について話すことを予定している。町会の役員会で、クリスマス子供会で分別クイズのようなことを行った。市から出張講座を受けるよう強要することはできないと思うので、ごみゼロ化推進員

(審議過程) 主な発言等

岡山会長	<p>などが中心となって、市に要請、取り組みを広げていく形が良いのではないかと思います。</p> <p>ごみゼロの日である5月30日に、学区ごとに競争の形でごみ拾いをしているところもある。子どもはごみを拾うと、ごみを捨てなくなるので、意識の醸成に繋がると思う。事業を進めるための、例えば景品などの費用の一部を市が助成する、などの形もあると思う。自治会によって企画力が異なるので、どのような支援があるとこのような活動が推進していくのか、市側から枠組みも含めて提案して頂けるとありがたい。</p>
小野ごみ対策課長	<p>いろいろご意見を頂くと、市側も考えることが多くなり、その部分でより質の高い取組になっていくのではないかと思います。子育て世代が一番ごみの排出量が多いので、子供達への啓蒙から得られる世帯の協力が大事である。それを活用して行きたい。</p>
林委員	<p>巻末にはアンケートの結果が添付されるのか。</p>
大久保減量推進係長	<p>資料編はパブリックコメントには出さない。前計画における資料編に該当する部分の大半は、これまでの審議会でお渡ししている。アンケート取りまとめは資料編で行うが、その中の評価は、課題の中に盛り込んでいく。</p>
岡山会長	<p>アンケート・組成分析調査・各々の結果が資料に記載される。それに対して考察は加えない。</p> <p>それでは最後に、その他として事務局から何か報告があればお願いします。</p>
大久保減量推進係長	<p>それでは、次回の審議会の日程についてお知らせする。次回日程は、来週12月18日(水曜日)午後3時から、中間処理場で開催を予定しており、本日の修正点を加筆し、完成した基本計画案を確認していただくことと、懸案事項である施策の評価について検討したので、そちらをお示ししようと考えている。</p> <p>本日の会議録についてであるが、次回の審議会までの期間が</p>

(審議過程) 主な発言等

岡山会長	<p>短いため、作成が間に合わない。よって次々回の審議会までにお示しさせていただいたうえで、1月に予定している第9回審議会冒頭でご確認させて頂くことになるため、ご了承いただきたい。</p> <p>本日は以上をもって審議会を終了する。</p>
------	--